

左からニャジロウ、こあぴょん、美郷のミズモ、与次郎、たかたのゆめちゃん、こーた



◀左からピヨ丸、ウルフじいじ、龍王さくらちゃん、与次郎、美郷のミズモ、原宿みっころ、ニャジロウ

ミズモのお友達大集合!

ラベンダーまつりキャライベント

美郷町ラベンダーまつりが6月7日から29日にかけて開催され、多くの来場者でにぎわいました。14日と28日には、県内外のミズモのお友達キャラクターが大集合するイベントが行われ、記念撮影などを通してたくさんの方々と触れ合いました。



未来の姿を探しに行こう!

わくわくサマースクール

町と連携協力協定を結んでいる日本航空株式会社と国際教養大学の協力により「JAL×HACお仕事体験&国際教養大学見学ツアー」が6月14日に行われ、町内各小学校の4~5年生児童7名とその保護者8名が参加しました。

JAL×HACお仕事体験では、専用のパドルを使って着陸する飛行機を停止位置まで誘導する「マーシャラー体験」に挑戦しました。続いて訪問した国際教養大学では、学生寮や講義棟、図書館を見学し、寮生活の様子やカリキュラムに関する説明を受けました。児童らは説明や体験の中で積極的に質問し、関心のある事柄について理解を深めている様子でした。



ふるさとの特色を学ぶ

六郷小学校「わくわく町たんけん!」

六郷小学校の児童たちが、六郷地区の自然や歴史・文化に触れ、ふるさとの特色を学ぶ総合学習「わくわく町たんけん」が6月24日に行われました。児童たちは清水や寺院、商店街を訪問し、気になることをインタビューするなどして地域の方々と交流しました。振り返りでは、身近な存在だった地域について感じたことを話し合い、ふるさとの親しむ心を育んだ様子でした。

子どもたちに“ほんもの”の体験を

ドリーム体験!ほんもの講座

町内各小学校の1年生から4年生までを対象とした「ドリーム体験!ほんもの講座」が、6月27日に美郷町公民館で行われました。一流の芸術に触れることで、子どもたちの感性と創造力を育むことを目的としており、今年は劇団青い鳥ティアティカル・カンパニーによる「ネバーランド」が披露されました。子どもたちは歌やダンスに魅了され、迫真の演技には驚き、コミカルな場面では大笑いして、大いに盛り上がりながら観劇していました。



ホオノキの苗木100本を植樹

薬樹の森づくり活動植樹事業

薬樹の森づくり活動植樹事業が7月13日に行われ、公益社団法人東京生薬協会の方々や、六郷高校の生徒たちなど合わせて72名が参加しました。当日は東京生薬協会広報委員会委員長の池村国弘さんによる薬用樹木の講話から始まり、参加者は薬樹について理解を深めてから実際の植樹を行いました。会場を旧花岡スキー場に移してからは、参加者らの手によって100本のホオノキの苗木が植樹されました。当事業は「秋田県水と緑の森づくり税」を活用しています。



池村国弘さん



MISATOPICS

町の話題



甘酸っぱくて美味しい～!

こども園ブルーベリー収穫体験

町内の認定こども園4歳児を対象としたブルーベリーの収穫体験が、7月14日に黒川農園で行われました。園児たちは、初めて見るブルーベリー畑に少し戸惑う様子も見られましたが、採れたてのブルーベリーを頬張るとすっかり感激し、農園は「美味しい～!」とはしゃぐ園児たちの声でいっぱいになりました。



▲ホオノキの植樹を行う松田町長(左)と藤井隆太東京生業協会会長(右)

子供たちにとって最高のこの時期。夏休み。どんな過ごし方をしているでしょうか。長い夏休みが無い私からすると、羨ましさとともに、子供たちにはできる限り記憶に残る、「何かがある」夏休みになつてもらいたいと願うところです。

では、「私には記憶に残っている何かがあるのか?」となりますが…あります。確かに記憶に残っている夏休みの出来事や情景、いくつがあります。特に記憶に深いのが高校生の夏休みです。親にお願いの上にお願いを重ねて、一定の期間、首都圏に行かせてもらっ

たことがあります。基本、つくば市の兄の住まいが根城で、そこから常磐線、山手線と乗り継いでさまざまな場所を訪れました。いわば「田舎高校生 冒険の夏」を経験させてもらっております。

冒険内容はさておきますが、今でも肌に残っている記憶が、この時期ならではの「ムッ」とする東京の暑さです。電車から降りた瞬間押し寄せる空気はまさに熱波で、ある種の衝撃でした。当時の美郷は今よりも涼しかったわけで、そうした熱波に衝撃を感じたことも、ある意味で当然だったのかも知れません。

しかし、現在どうでしょう。あの衝撃的な東京の熱波が、なんとここ美郷でも普通にあるようになってしまいました。まったくもって、どうなっちゃっているのでしょうか。それが稀にある程度であ

COLUMN
WINDS

コラム

風

大変な夏

美郷町長 松田 知己

ればやり過ごせませんが、今年のような気象経過では堪りません。やはり暑さ対策、特に熱中症対策は意識しなければいけません。

基本的に熱中症対策は、個人に頼るしかありません。ですので、どうか他人事でなく、自分事として意識して生活していただきたいと思っています。まず大切なことは、屋内外に関わらず水分補給をすること。そして、気温が特に高い日はできるだけ外出を控え、室温をエアコン等で管理して過ごすことです。

とは言うものの、「エアコンがなくて室内温度の管理ができない」というご家庭もあります。そこで町では熱中症予防を目的に、対象世帯は限定されますが、エアコン設置に関して支援策を準備いたしました。詳しくは本広報4頁をご覧ください。今年限りの支援策です。対象となるご家庭では是非設置をご検討ください。なお、県の制度もあり、そちらでも別の形の支援があります。望まぬ物価の高さと望まぬ気温の高さ。いやはや、大変な夏です。